

三重県

みえ
歴史街道
ウォーキング
マップ

大和街道

YAMATO



大和街道

大和街道の概要

大和街道・伊賀街道が通る伊賀国は、伊勢・近江・山城・大和の国々に囲まれた山国で、上野盆地に入るためには、どの道を通っても険しい山を越えなければならなかったと同時に、伊賀国を通らなければ相互の連絡に不自由するという交通の要衝であった。

大和街道は、江戸時代には加太越奈良道と呼ばれ、関の西の追分で東海道から分岐し、加太峠を越え、三重県をぬけて奈良へと続く街道である。この道の歴史は古く、大海人皇子が壬申の乱の折に、あるいは、源義経が木曾義仲を討つ折に通った加太峠越道が、この街道の原型とされる。

この、歴史の英雄たちが駆け抜けた道は、現在はほとんどが農道となり、一部は拡張されて国道25号や国道163号になっている。

慶長13年（1608）、徳川家康の信任も厚い藤堂高虎は、伊勢、伊賀の藩主に移封されると、国の

防衛のため伊賀の道は険しいままにしておくようにと命じ、伊賀国への入口とも言うべき「伊賀の七口」に兵を置いて領国を守るといふ政策を取った。これは、高虎がこの地へ移封されたのが、大坂方への前進基地の意味を持つためと思われる。同様に高虎は津を平時の時の城、伊賀を「秘蔵の国」すなわち万一の時の本城と考えていたのである。

この街道は大和地方諸国の大名が参勤交代の折に利用する道であり、伊賀国と山城国を結ぶと同時に木津川の水運につながり、淀川を経て、下流の京都・大坂という二大都市、そして外洋へと続く重要なルートでもあった。

伊賀地方は大和地方に隣接し、東大寺などの影響も強かった。また、さらに古代に遡^{さかのぼ}ってみると、この地方は古墳の密集地帯でもあり、遙か古代から畿内の進んだ文化が流れこんでいたことがうかがえる。

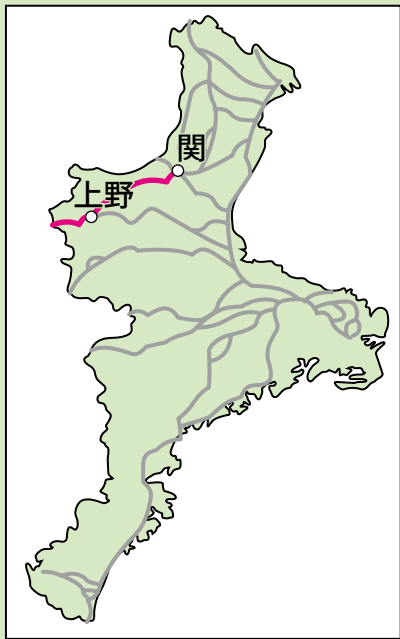
おそらく木津川という長大な流れが、人や文化を運ぶ天然の道となってきたのだろう。

そして、大和街道はその歴史の流れを受け継いだ街道であると言えるのかもしれない。



大海人皇子そして義経。歴史の英雄が通った道。

大和街道



歩く速さで見えてくるものがある。
歩くからこそ出会うものがある。
いにしえの旅人の足跡をたどり、
時の彼方の物語に出会ってみよう。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがしやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

◆ 目次

大和街道の概要	1
大和街道のルート	2
西の追分	4
(1) 加太・1	6
(2) 加太・2	10
(3) 一ツ家	12
(4) 上柘植	14
(5) 下柘植	16
(6) 佐那具	18
(7) 千歳	20
(8) 上野	22
(9) 鍵屋の辻	26
(10) 鍵屋の辻	30
(11) 島ヶ原・1(三軒屋)	32
(12) 島ヶ原・2(島ヶ原宿)	32

(1) 西の追分

(亀山市関町新所～関町金場)

地図内凡例

-  道標など
-  常夜灯
-  神社・仏閣・城址など
-  地蔵など
-  句碑
-  その他文化資産等
-  まちかど博物館
-  博物館・資料館
-  まちがえやすい分かれ道
-  バス停
-  トイレ



10 栗の木地藏
字ホウソウ谷土橋のあたり。



9 平ノ沢城跡
南平山の山裾にあり、土塁や石垣跡が見られる。



8 道標
「右伊賀 左越川」と刻まれている。大正3年のもの



7 街道の側を流れる加太川



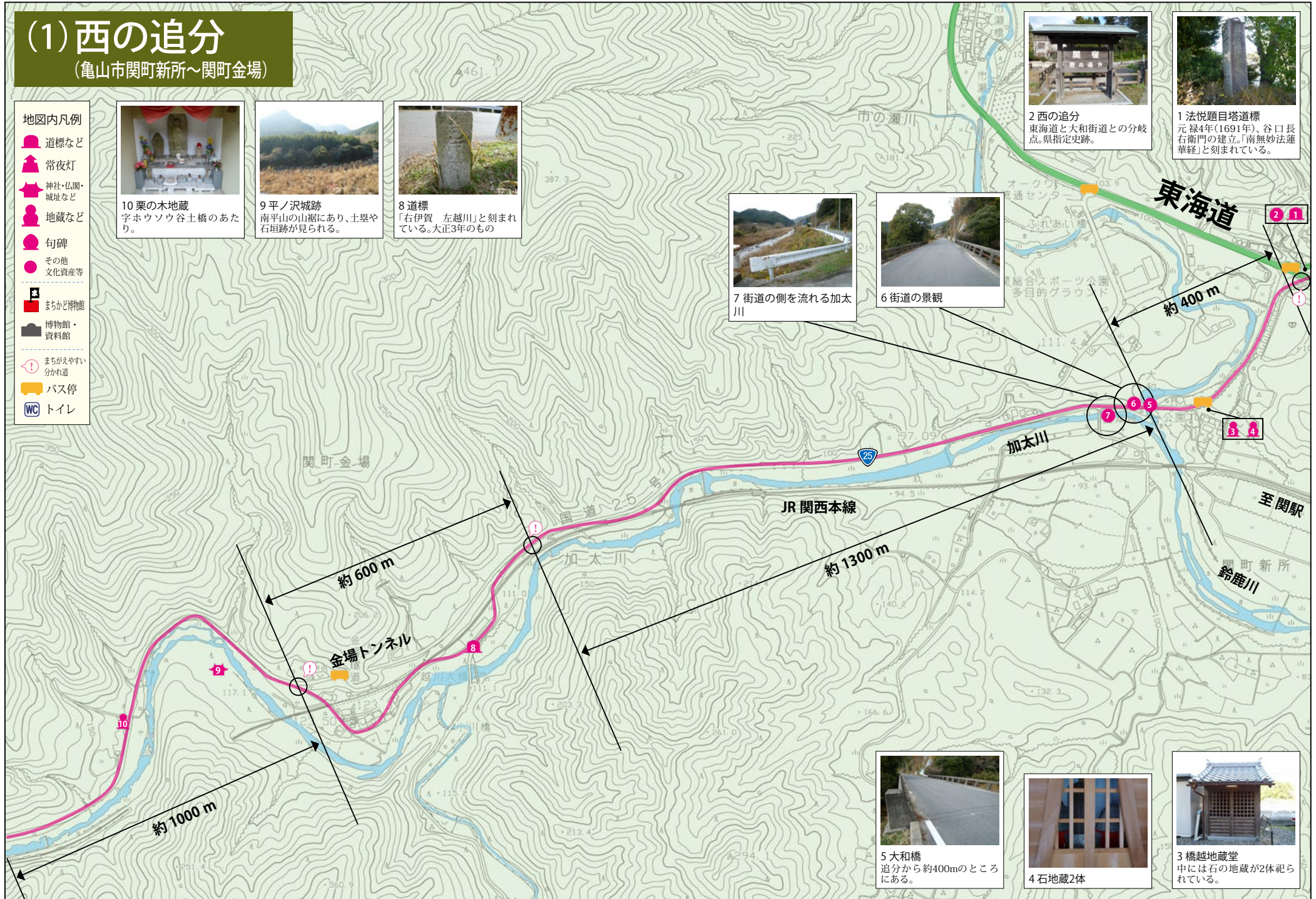
6 街道の景観



2 西の追分
東海道と大和街道との分岐点。県指定史跡。



1 法悦題目塔道標
元禄4年(1691年)、谷口長右衛門の建立。「南無妙法蓮華經」と刻まれている。



5 大和橋
追分から約400mのところにある。



4 石地藏2体



3 橋越地藏堂
中には石の地藏が2体祀られている。

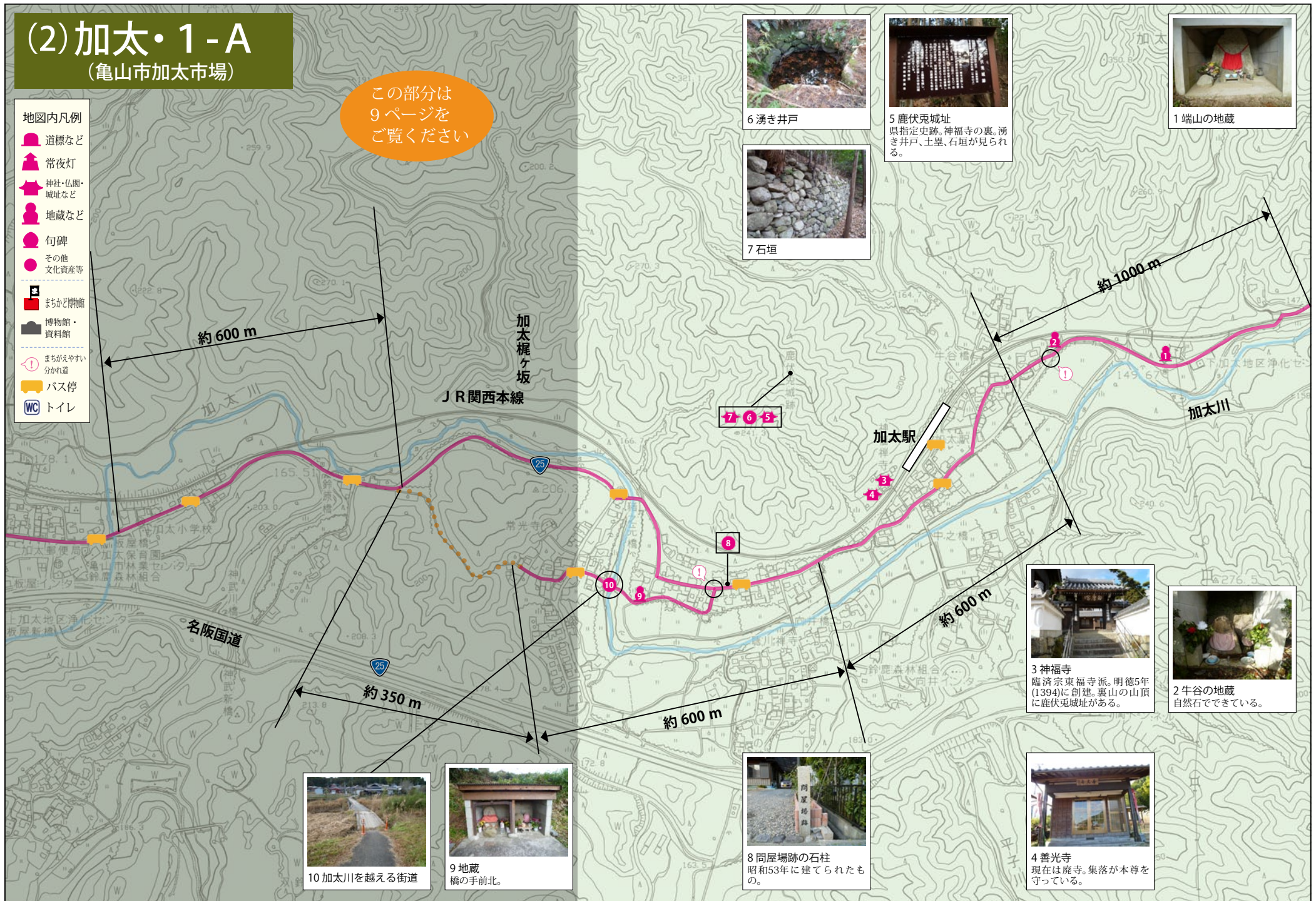
(2)加太・1-A

(亀山市加太市場)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は
9 ページを
ご覧ください



(2)加太・1-B

(亀山市加太梶ヶ坂)

地図内凡例

-  道標など
-  常夜灯
-  神社・仏閣・城址など
-  地蔵など
-  句碑
-  その他文化資産等
-  まちかど博物館
-  博物館・資料館
-  まちがえやすい分かれ道
-  バス停
-  トイレ



6 鈴原橋から見る加太川の流れ



5 地藏
今も櫛が手向けられている。



4 梶ヶ坂の街道
ここから地道になる。



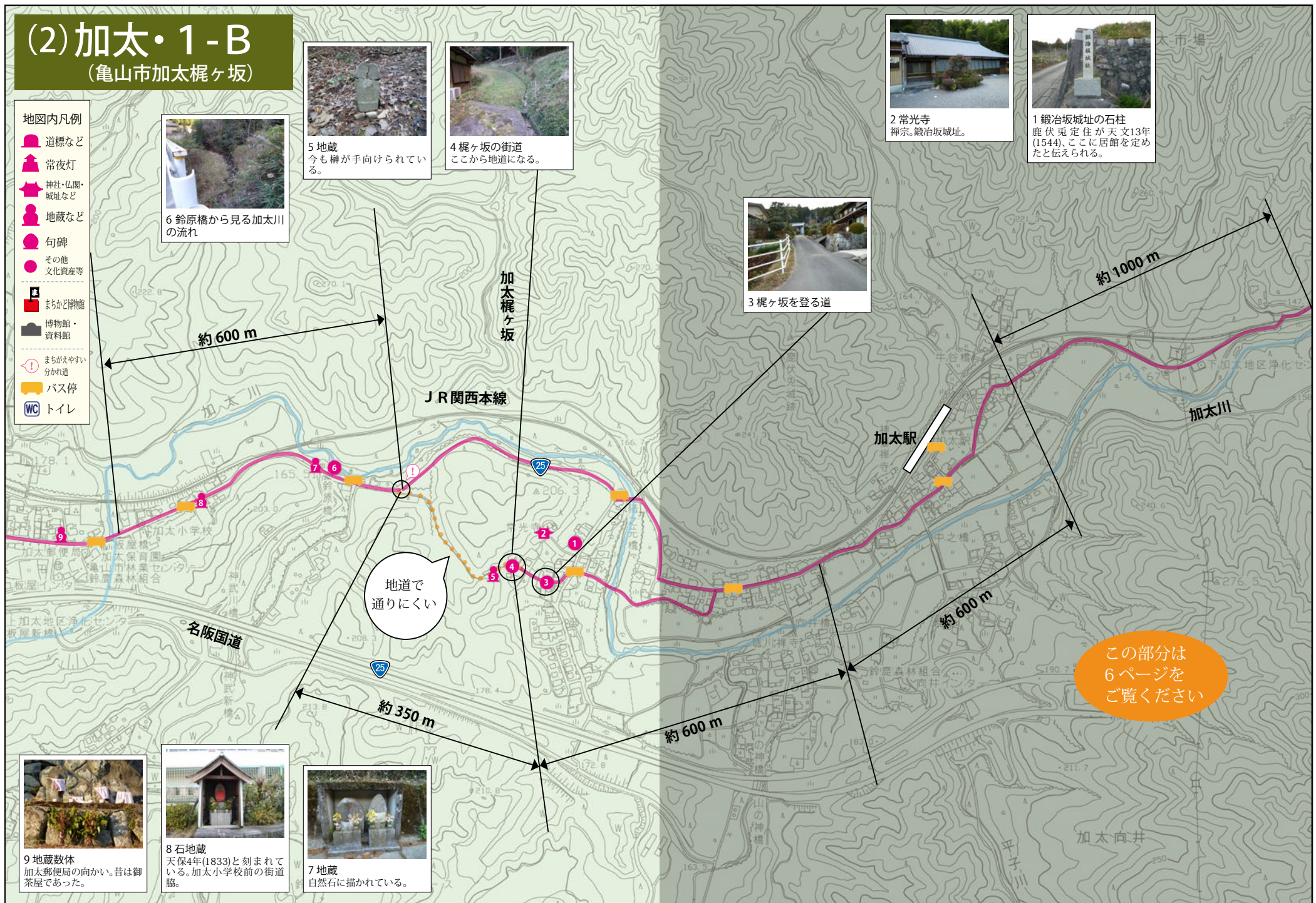
3 梶ヶ坂を登る道



2 常光寺
禅宗。鍛冶坂城址。



1 鍛冶坂城址の石柱
鹿伏鬼定住が天文13年(1544)、ここに居館を定めたと伝えられる。



この部分は
6 ページを
ご覧ください



8 石地藏
天保4年(1833)と刻まれている。加太小学校前の街道脇。



7 地藏
自然石に描かれている。



9 地藏数体
加太郵便局の向かい。昔は御茶屋であった。

(3)加太・2

(亀山市加太板屋～加太北在家)

約1600 m

この部分
の街道が
不明



4 道標
上部が折れて無く、「音吉」と
刻まれている。



3 土塁跡
本陣の西隣の庄屋敷跡の
西辺にある石積みの土塁
跡。



2 名残松



1 本陣跡
現在空家

約550 m



13 地藏
大木が倒れ、埋まりかかっ
ている。



12 地藏



11 地藏
北在家集落のはずれにあ
り、道に背を向けている。

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・
城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他
文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・
資料館
 - まちがえやすい
分かれ道
 - バス停
 - トイレ

J R 関西本線

名阪国道

喜和田川



10 杉の御神木



9 川俣神社
境内には自然の谷とわずかな
土塁の跡が残る。かつては
草相摸が行われていた。亀山
市指定史跡。



6 川俣神社の石柱



5 道の屈折
本陣近くの道。大和街道の特
徴である。



8 宮相摸の土俵
川俣神社境内



7 石燈籠
神社入口にある。貞享2年
(1685)に坂久左衛門が寄
進。

(4) 一ツ家

(伊賀市一ツ屋～柘植町岡鼻)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



10 太神宮
中の石柱に「天照皇太神宮□」と刻まれている。



9 石燈籠
太神宮の前にある。



4 一ツ家をいく街道



3 地蔵
「三界万霊」と刻まれている。文化10年(1813)のもの。



2 墓地
墓石のない墓地



1 地蔵
自然石に2体の地蔵が描かれている。徳川家康が前を通ったという言い伝えがある。



13 大林よりの・工芸品製作館



12 ガラス工芸博物館



11 常夜燈
集議所の東。旧伊賀町内に残る旧大和街道唯一のもの。



8 岡鼻を走る街道



7 鴉山池
風光明媚な池。灌漑用の人工貯水池。街道はこの北を通る。



6 旅人宿伊賀屋跡
他にも「酒屋」と呼ばれた旅人宿があった。



5 旅人宿紅葉屋跡
昔はこのあたりに十数軒の旅人宿があった。

街道はなくなっている

屋敷跡や稲荷社が残る

約 650 m

約 650 m

約 500 m

約 1000 m

JR 関西本線

柘植川

大仙池

馬場谷池

伊賀

柘植町

新朝古橋

朝古橋

伊賀大橋

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

伊賀

(6) 下柘植 (伊賀市中柘植～御代)



10 御代橋



9 常夜燈



8 芭蕉の酒博物館 橋本酒造場



11 専念寺



12 鈴木屋敷
伊賀市指定史跡



13 常夜燈

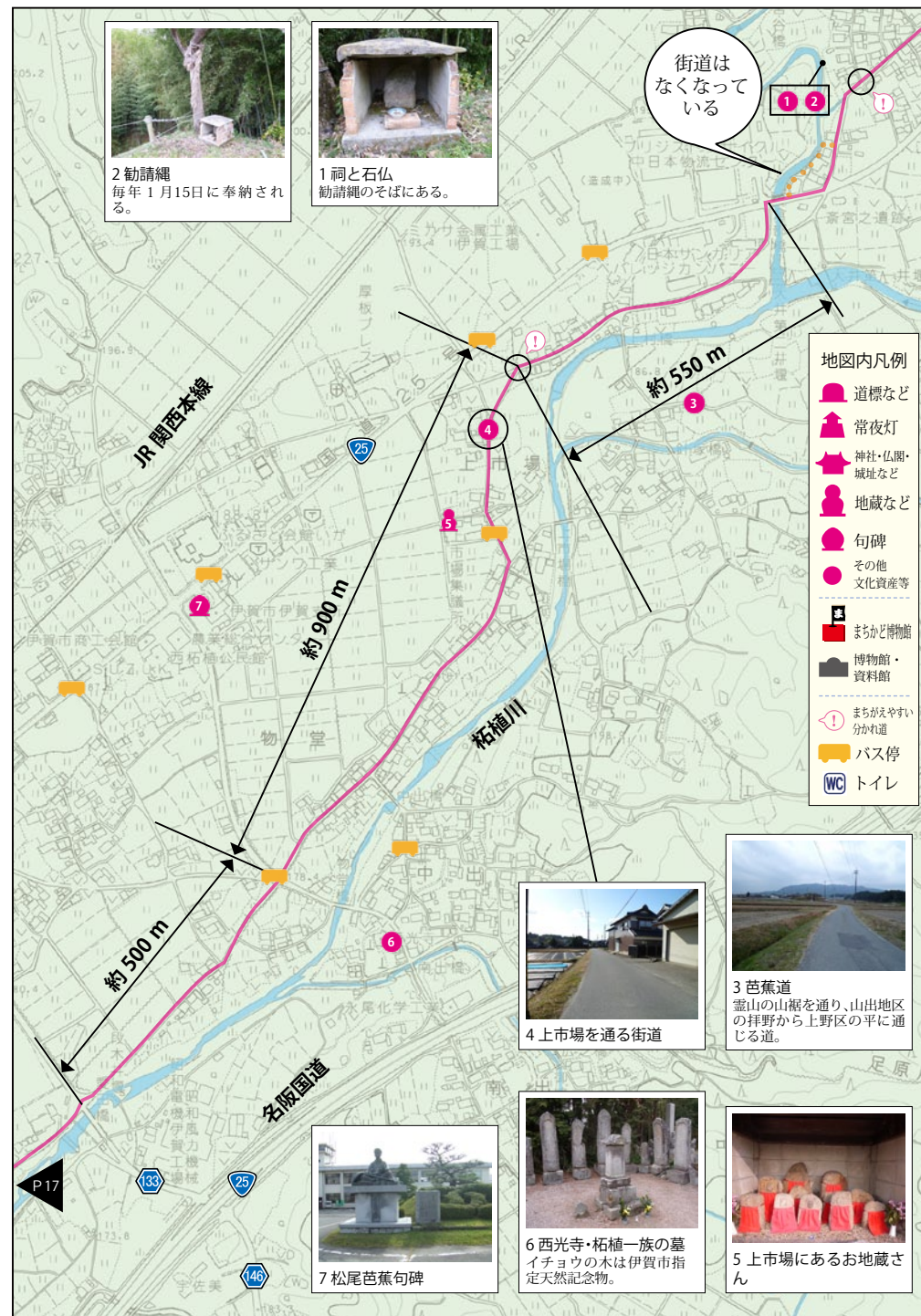


2 勸請縄
毎年1月15日に奉納される。



1 祠と石仏
勸請縄のそばにある。

街道は
なくなって
いる



- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化遺産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



4 上市場を通る街道



3 芭蕉道
霊山の山裾を通り、山出地区の拝野から上野区の平に通じる道。



7 松尾芭蕉句碑



6 西光寺・柘植一族の墓
イチョウの木は伊賀市指定天然記念物。



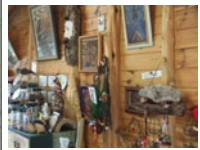
5 上市場にあるお地蔵さん

(7) 佐那具

(伊賀市柏野～佐那具町)



5 伊賀焼職人博物館 常山窯



8 いなちゃんの手仕事ようこそ博物館



2 轉輪寺
七本松は伊賀市指定天然記念物。



4 祠
地蔵を祀る。



10 了源寺
境内には伊賀市指定史跡の源上人墓所がある。



9 府中神社



7 旅館八百銀



6 御墓山古墳



3 柘植川沿いを行く街道



1 祠

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(8) 千歳 (伊賀市千歳～印代)



(9) 上野・A

(伊賀市服部町～上野中町・上野西町)



20 明覚寺



17 万吉稲荷社



14 札の辻
街道と愛宕神社への道との
分岐点。



12 菅原神社
菅原道真を祀る。松尾芭蕉
は処女作「貝おほい」を奉納し、
別名「貝おほい奉納社」とも
呼ばれる。通称上野天神宮。
伊賀市指定史跡。



13 伊賀鉄道上野市駅



21 砂糖問屋
田中商店



18 上野心学舎有誠舎跡
文化年間末に廃絶したが、
柴田鳩翁が再興。現在の中
町集議所。



15 道路元標



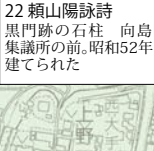
22 頼山陽詠詩
黒門跡の石柱 向島町
集議所の前。昭和52年に
建てられた



19 上野高校明治校舎
旧三重県第三尋常中学校校
舎。県指定文化財。



16 家なみ
虫籠窓が多い。



22 頼山陽詠詩
黒門跡の石柱 向島町
集議所の前。昭和52年に
建てられた

まちかど博物館、
博物館・資料館は
24・25ページを
ご覧ください

約 600 m

約 800 m

約 250 m

約 1150 m



4 三効湯



1 小宮神社
延喜式内社。「ニノ宮」と称
される。



5 割烹旅館三田清



2 厄除け地蔵
石籠の中にある。



7 道標
現・井本薬局角にある。



6 虫籠窓の家



3 道標
赤坂の通称坂上町に曲がる
丁字路東にある。「左東海
道せき道 右ならはせ山
上道」と刻まれている。



8 古い家
現在、井本薬局



9 寺町の家なみ
寺が密集し、白い土塀が続く



11 鍋屋
現在は酒造業「なべ彦」



10 玄蕃町延命地蔵

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(9) 上野・B

(伊賀市服部町～上野中町・上野西町)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

街道沿いの
歴史的資産等は
22・23ページを
ご覧ください

約 600 m

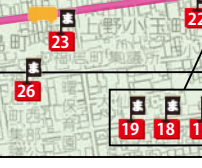
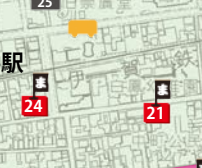
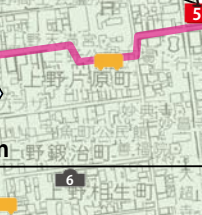
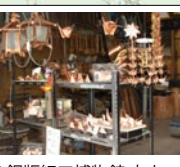
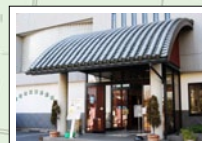
矢谷川

服部川

約 800 m

伊賀街道

くれば水辺公園、
上野公園周辺、
市街には多くの
句碑があります



(10) 鍵屋の辻・A

(伊賀市上野向島町～長田)



19 虫籠窓の家



20 長田市場の家なみ



21 柿渋工房 一閑張なか



17 道標
三重交通車庫前。「左月瀬道 右奈良大阪」明治27年(1894)と刻まれている。



18 「淀川通航終点」の碑
淀川水系改修記念百年碑。長田橋の東詰め、道路右にある。昭和50年(1975)に建てられた



16 万屋
鍵屋の辻公園内の数馬茶屋。もとは鍵屋の辻の西隣にあった。



15 橋本鶏二句碑

この部分は
29 ページを
ご覧ください



23 道標
道標の隣。「郷社射手神社」



22 道標
長田市場集落西部、左の三叉路北西角。「左ならミチ 射手八幡宮道はヨリ三丁」



6 伊賀越資料館



7 宮城きよなみ句碑



12 小六坂



13 開化寺前の不動明王



14 橋本鶏二句碑



4 阿部神社
幸坂を下ったところ。



5 幸福寺地藏堂



10 鍵屋の辻
伊賀越えの仇討ちで知られる。信楽の追分。県指定史跡。



11 道標
鍵屋の辻にある。「みぎいせみち ひだりなら道」文政13年(1830)と刻まれている。



2 幸坂



3 昭和ハウス



8 高浜年尾句碑



9 杉森千柿句碑



1 道標
札の辻の南西角から向島町の民家の庭に移設。「左山上はせ道 右京なら道」と刻まれている。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(10) 鍵屋の辻・B

(伊賀市上野向島町～長田)



28 堂
大野木北山の分岐点から移設。堂内に登地蔵・道標地蔵・五輪塔が祀られている。



26 掘出地蔵(お紋地蔵)
3体の地蔵が彫られている。まわりに地蔵が多数ある。



24 石碑
大峰三十三度の供養塔の隣。



22 射手神社石造十三重塔
国指定重要文化財



23 山裾を行く街道



21 橋本地蔵
橋の手前左



19 常住寺から上野城の眺め
歌川広重の版画「伊賀上野」はこのあたりからの眺め



18 道標
平尾の中ほどの十字路南西角から常住寺参道入口に移設。「みぎなら道是より二丁南慈心坊冥途中…」



1 西蓮寺
服部土芳墓所等は伊賀市指定文化財。



20 常住寺閻魔堂
本尊は一寸八分の秘仏・閻魔像。藤堂高次が寄進した。境内には県指定文化財・十王図がある。県指定文化財。



2 松尾芭蕉・服部土芳句碑

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は
26 ページを
ご覧ください



12 松尾芭蕉句碑



9 松尾芭蕉句碑



6 句碑



3 松尾芭蕉句碑



13 松尾芭蕉句碑



10 松尾芭蕉句碑



7 松尾芭蕉句碑



4 小屋久幸句碑



14 松尾芭蕉句碑



11 松尾芭蕉句碑



8 松尾芭蕉句碑



5 菰柑子句碑



17 「芭蕉の森」公園から見た上野市



16 松尾芭蕉句碑



15 松尾芭蕉句碑

2 11

(11) 島ヶ原・1(三軒屋)

(伊賀市島ヶ原三軒屋～川南)

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



18 粘土と伊賀焼博物館 普門窯



16 与右衛門坂 非常に急な坂



10 祠と鳥居 三本松池のそばにある。



11 三本松池 街道の左側。この樋の水路が島ヶ原宿との境となる。



12 三本松坂



13 芭蕉の尻もち坂



7 お茶屋の井戸跡



8 石柱 太神宮万人講燈籠跡



9 城主認可の茶屋跡



4 松尾芭蕉句碑



5 三本松峠へ向かう街道



1 伊賀焼の店 体験陶芸博物館



2 見とどけ地蔵 小堀の西はずれの集落北から稲荷神社境内へ移設。織田信長の伊賀攻めにより射手神社旧殿が焼かれたのを見とどけたという言い伝えがある。市指定文化財。



3 虫籠窓の家 この他にもこの集落にはいくつか残っている。



15 峰の六地藏



14 苔道

約 1050 m

約 250 m

約 1200 m

約 700 m

(12) 島ヶ原・2(島ヶ原宿)-A (伊賀市島ヶ原川南～県境)



19 本陣付近の家並



17 本陣兼御茶屋



16 旅籠松屋
島ヶ原郵便局から南西へ約80m。河合又五郎の宿だったと伝えられる。文政11年(1829)には頼山陽が宿泊。



20 本陣兼御茶屋の平面図
岩佐家が保存



18 宿札
「松平甲斐守宿」岩佐家が保存。

この部分は
35 ページを
ご覧ください

約 1450 m
J R 関西本線

約 650 m



24 三社石
通称・土山にはいったところ。「春日大明神皇太神宮千日祈願塔」



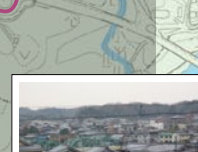
23 地藏2体



22 創作ひょうたんの館



21 火除け土手



9 島ヶ原一望の風景



10 島ヶ原大橋より木津川川南方面を望む



7 荒木又右衛門が宿泊した民家
伊賀越仇討ちの際、荒木又右衛門一行がその前夜に休息したと伝えられる民家。昔は庄屋。



8 観音
瑞光寺といわれた小寺。



5 茶屋
現在の北川家。



6 虫籠窓の家



13 石薬師磨崖仏



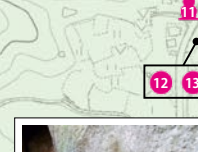
14 駅前の地藏群



15 島ヶ原宿に行く街道



11 薬師沢六地藏



12 薬師堂の裏の磨崖仏



3 道標
民家にある。「右いしうち左志らかせ」



4 茶屋の井戸跡
民家にある。



1 森庵寺
川南斎場



2 道標
森庵寺前から200m。民家にある。「右なら道 ひだりいせみち」

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地藏など
 - 句碑
 - その他
 - 文化資産等
 - まちかど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ

(12) 島ヶ原・2(島ヶ原宿)-B (伊賀市島ヶ原川南～県境)



10 峠坂



9 三社石
峠坂の途中にある。享保16年(1731)と刻まれている。



6 行者堂
木津川縁にある。



3 山の神
阿弥陀磨崖仏の隣。石燈籠のような形をしている。



1 行者堂への道標
「左岩谷山役行者」



17 関所跡
今は雑木林になっている。



15 道標の石柱
島ヶ原会館前の道向かい。山管関門のあったところ。「関門大師関所跡大和街道奈良笠置鍵屋辻伊勢二至ル」明治48年



13 八幡宮遙拝所
島ヶ原会館前。



11 行者堂への道標



18 J R山菅トンネル



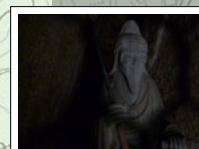
16 北向地藏
島ヶ原会館前の道向かい。



14 観世音菩薩
島ヶ原会館の横。



12 山菅を行く街道



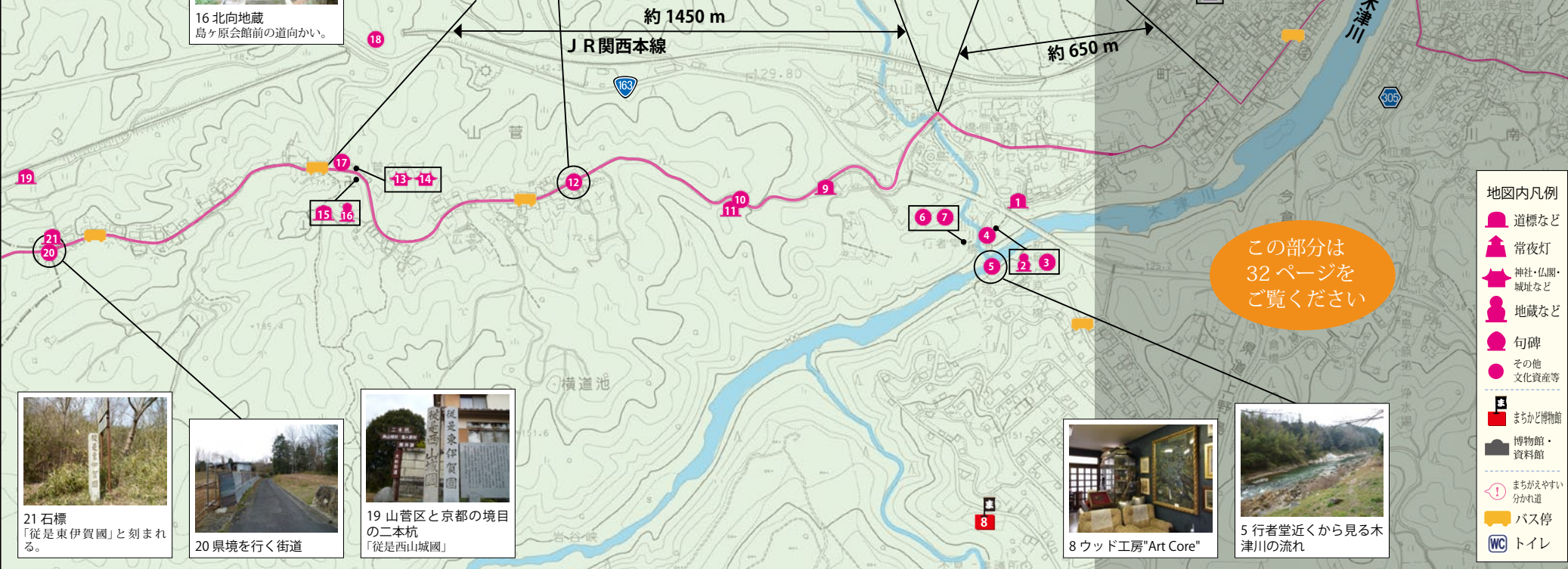
7 役行者



4 小屋
行者堂近くの巨大な岩の上に建つ。



2 阿弥陀磨崖仏
行者堂のそば。市指定文化財。室町時代初期のもの。



このウォーキングマップは、三重県の街道を訪れる人や、地域に暮らす人誰もが街道や周辺の文化資産等に興味を持ち、触れることができるように作成しました。

場所によっては旧街道のルート自体が道で無くなっていたり、現在は通行できない箇所もあります。

その場合は迂回路等をご案内しており、史実に沿わない部分もありますが、あくまで旧街道を基本に周辺に残る文化や、新しく発展した文化などをご紹介します、散策を目的にご利用いただくものとご理解ください。

地図上のマークの位置は目安で、実際の位置と若干異なる場合があります、隣接する資産等はを並べて表示している場合がありますので、ご注意ください。

また、マップに掲載されている「まちかど博物館」や「博物館・資料館等」につきましては、開館日や開館時間等が決められており、予約が必要な場合もありますので、事前にご確認・ご連絡の上、訪問していただきますようお願いいたします。

なお、お気づきの点等がありましたら、ご指摘等いただければ幸いです。

みえの歴史街道の詳細情報やまちかど博物館、博物館・資料館の連絡先や概要、句碑の詳細情報などは下記ホームページからご覧いただけます。

「三重の文化」 ホームページ
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/>

- 掲載されている文化資産やまちかど博物館等の情報は平成23年2月時点のものです。
- この地図は三重県自治会館組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2006三重県共有デジタル地図（数値地形図縮図10,000）」を使用し、調整したものです。（承認番号：三自治地第195号）本成果を複製あるいは使用して地図を調整する場合は、同組合の承認を必要とします。
- バス停・トイレの情報は「平成22年度生活密着型地理空間情報整備緊急雇用創出事業」で、平成22年10月から23年1月にかけて調査したものです。



みえ歴史街道

～みえ歴史街道構想～

三重の「街道」の持つ魅力を、
観光資源としてだけでなく、
豊かでうるおいのある生活や
文化を創造していく資源として活かし、

1

住む人、訪れる人の両方が
満足できるような地域づくり

2

未来へ向けて様々な
新しい交流が生まれる地域づくり

3

各地域の個性を磨きながら、
広域的に一体感のある地域づくり

を目指す三重県の構想。

(お問い合わせ先)

〒514-8570 三重県津市広明町13番地
三重県環境生活部文化振興課

電話：059-224-2233 e-mail:bunka@pref.mie.jp